

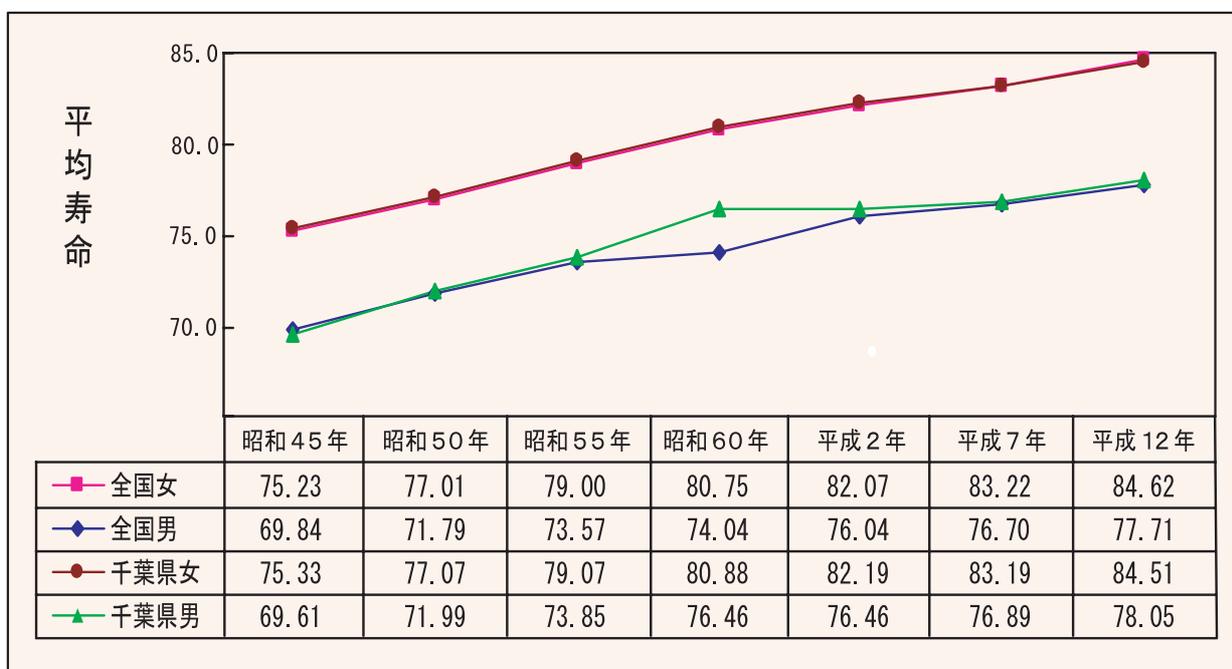
### 3 基本目標の状況

#### (1) 平均寿命

本県の平均寿命は、この30年間で男女とも約10年伸びており、平成12年の平均寿命は、男性が78.05歳、女性が84.51歳となっています。全国順位では、昭和7年には男性23位、女性31位だったものが、前回の国勢調査が行われた平成12年には男性11位と大幅に上がった一方、女性32位とあまり変わりませんでした。(図-1、図-2)

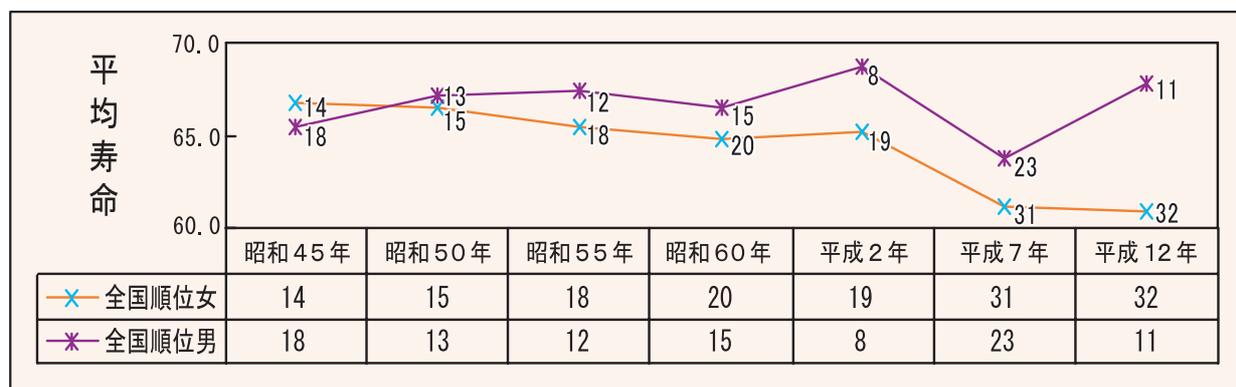
なお、平成17年簡易生命表によると全国の男性の平均寿命は78.53歳、女性の平均寿命は85.49歳で平成12年に比較し男女とも伸びています。

(図-1) 平均寿命の推移



(都道府県別生命表による)

(図-2) 平均寿命の推移 (全国順位)



(都道府県別生命表による)

## (2) 健康寿命

65歳における要介護4以上にならない平均的な期間を「65歳健康余命」とし、平成14年と平成17年の65歳健康余命を比較すると、男性は0.3年、女性は0.2年の伸びがみられます。

一方、平成12年と平成15年の65歳の平均余命を比較すると、男女とも0.4年伸び、伸び率は健康余命を上回っています。

また、平成14年と平成17年の障害期間（平均余命－健康寿命）及び健康割合（健康余命／平均余命×100）を比較するといずれも悪化している傾向がみられます。（表－1、表－2）

千葉県においては、特に高齢化のスピードが埼玉県に次いで全国第2位と急激な高齢化が進んでおり、今後は高齢者の健康づくり施策がますます重要となっていくと思われます。

(表－1) 65歳の健康余命等の状況 (平成14年)

	男	女
65歳の健康余命	16.9年	21.1年
65歳の平均余命	17.4年	22.2年
障害期間（上記の差）	0.5年	1.1年
健康割合（健康余命／平均余命×100）	97.1%	95.0%

(表－2) 65歳の健康余命等の状況 (平成17年)

	男	女
65歳の健康余命	17.2年	21.3年
65歳の平均余命	17.8年	22.6年
障害期間（上記の差）	0.6年	1.3年
健康割合（健康余命／平均余命×100）	96.6%	94.2%

※算出には、埼玉県衛生研究所、島根県保健環境科学研究所の方法を参考にし、プログラムの基本は切明義孝先生の「介護保険制度を利用した健康寿命計算マニュアル」を使用しました。

### (3) 生活の質の向上

平成17年度に実施した「生活習慣に関するアンケート調査」を基に健康関連QOL指標のひとつであるSF8について、全体、性別に提示されている国民の平均値と比較すると、千葉県全体と女性では下位尺度（PF・RP・BP・GH・VP・SF・RE・NH）の全て、又、男性でもほぼ全ての下位尺度項目において、有意に低い結果となっています。（表－3、表－4、表－5）

また、同アンケート調査の「過去1ヶ月間の健康状態」についてみると、「あまりよくない」、「良くない」、「ぜんぜん良くない」と回答したものが、全体で25.8%となっており、また、男性と女性を比較すると女性が男性より7.3ポイント高くなっています。（表7）

今後の取り組みとして、各QOL尺度の得点を上げること及び、健康状態が良いと感じている人の割合を高める施策を展開することが必要となっています。

(表－3) <SF－8の8つの下位尺度>

下位尺度名	英語名	略号
身体機能	Physical functioning	PF
日常役割機能（身体）	Role physical	RP
体の痛み	Bodily pain	BP
全体的健康感	General health	GH
活力	Vitality	VT
社会生活機能	Social functioning	SF
日常役割機能（精神）	Role emotional	RE
心の健康	Mental health	MH

#### SF－8について

SF健康調査票は、健康関連QOL（Health Related Quality of Life）を測定するための、科学的な信頼性・妥当性を持つ尺度です。

健康関連QOLとは、医療評価のためのQOLとして、個人の健康に由来する事項に限定した概念として定義されています。

今回の評価に使ったSF－8は、SF－36の簡易版で大きな調査用として用いられています。

SF－8には、国民の性、年齢、地域、都市規模等の分布と同じくするようにサンプリングして行った全国調査から得られた、SF－8の平均値である国民標準値が設定されています。

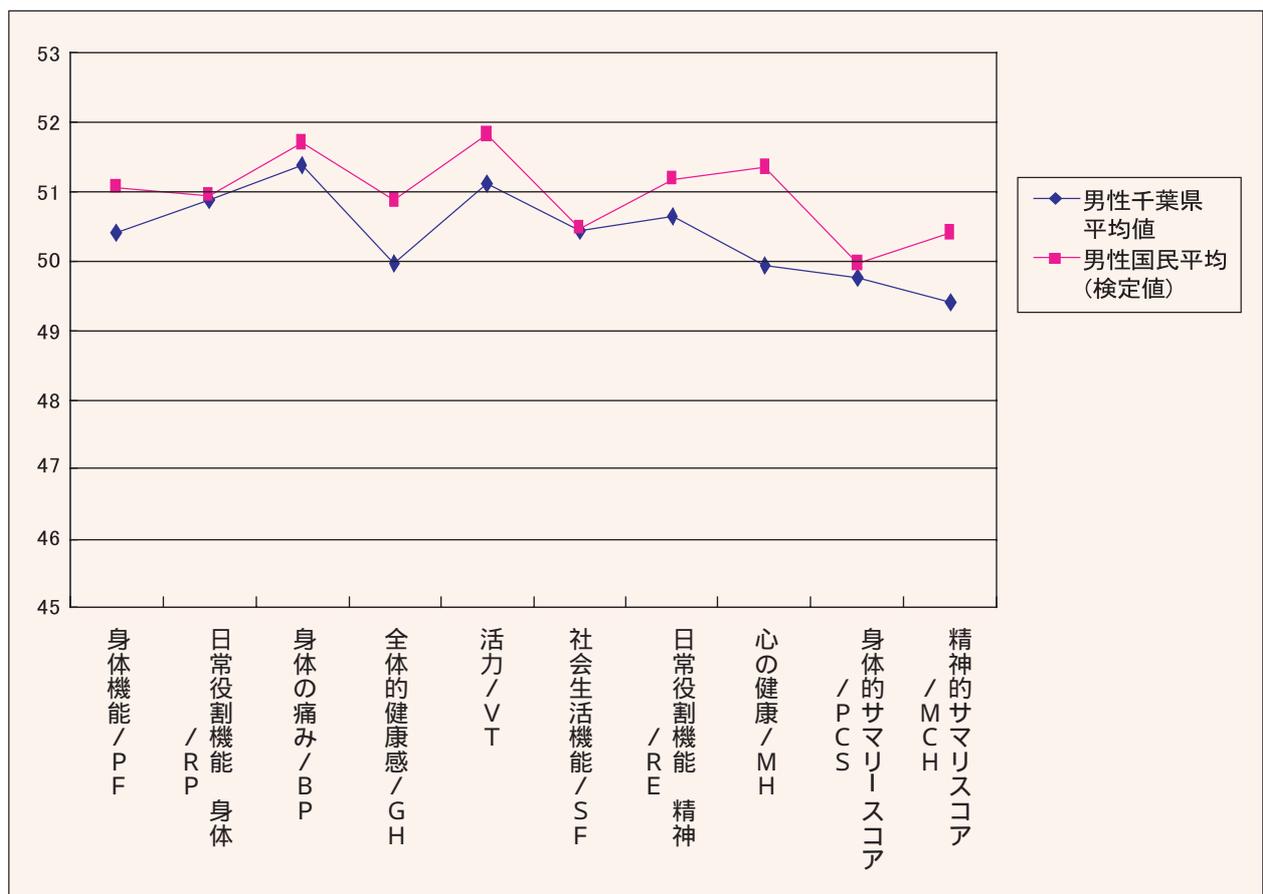
ある対象から得られたSF－8の結果を評価する際に、国民標準値を基準にして、それよりどの程度高いか低いかを検討することで、その対象の健康状態を評価することができます。

SF－8により（表－3）にあるとおり、健康を8つの領域（尺度）にわけ、それぞれのQOLを測定することができます。

## 健康関連QOL(HRQOL: Health Related Quality of Life)尺度SF-8による解析結果

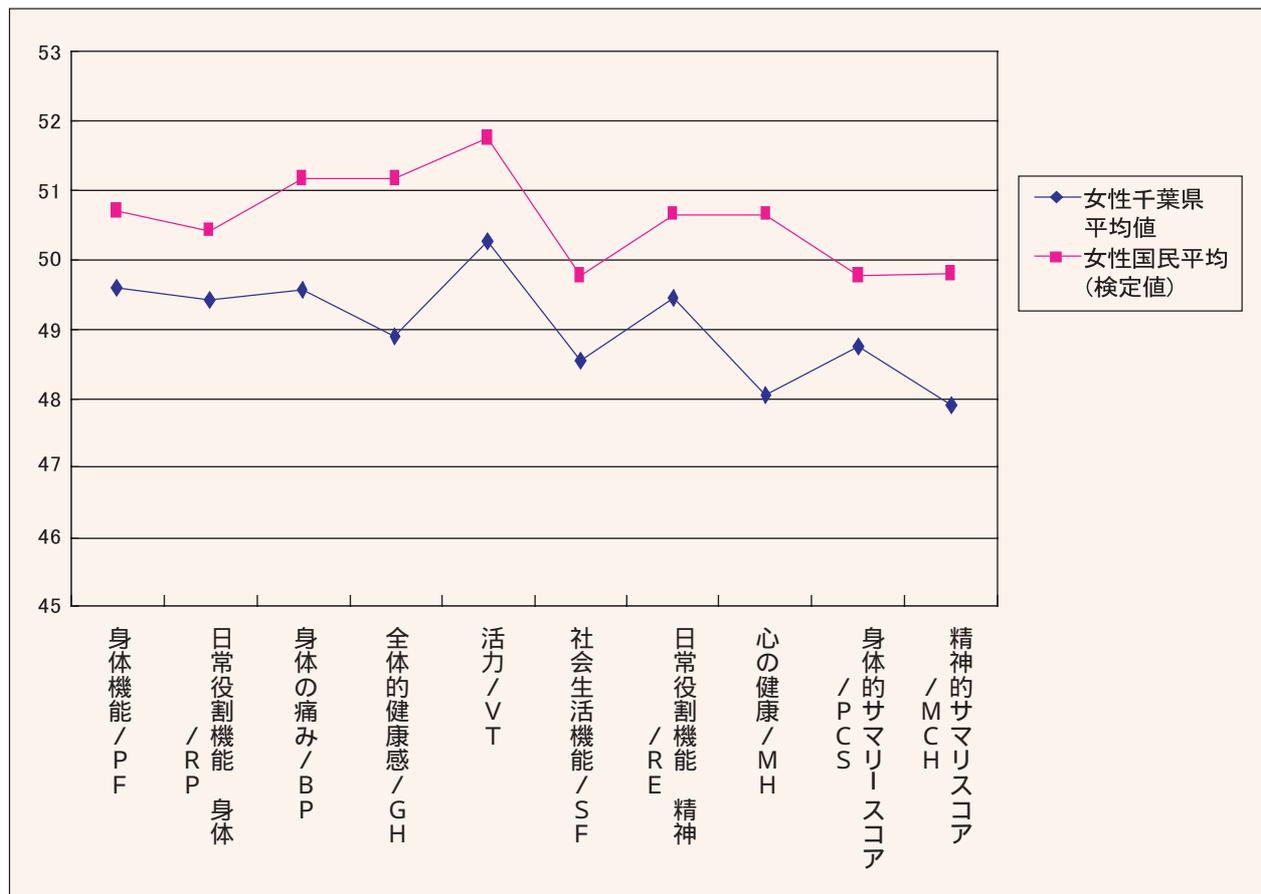
(表-4) 男性

男 性	有効回答数	平均値	標準偏差	国民平均 (検定値)	有意確率
身体機能 (PF)	1214	50.40	6.42	51.06	0.000
日常役割機能_身体 (RP)	1214	50.87	6.05	50.94	0.691
身体の痛み (BP)	1214	51.40	8.36	51.71	0.196
全体的健康感 (GH)	1214	49.97	6.81	50.86	0.000
活力 (VT)	1214	51.09	6.75	51.81	0.000
社会生活機能 (SF)	1214	50.45	7.33	50.46	0.976
日常役割機能_精神 (RE)	1214	50.65	6.04	51.17	0.003
心の健康 (MH)	1214	49.93	7.05	51.34	0.000
身体的サマリースコア (PCS)	1214	49.78	6.47	49.96	0.332
精神的サマリースコア (MCH)	1214	49.42	6.95	50.41	0.000



(表-5) 女性

女性	有効回答数	平均値	標準偏差	国民平均 (検定値)	有意確率
身体機能 (PF)	1580	49.55	7.12	50.64	0.000
日常役割機能_身体 (RP)	1580	49.37	7.32	50.38	0.000
身体の痛み (BP)	1580	49.51	8.78	51.14	0.000
全体的健康感 (GH)	1580	48.86	6.92	51.12	0.000
活力 (VT)	1580	50.21	6.74	51.71	0.000
社会生活機能 (SF)	1580	48.53	8.42	49.73	0.000
日常役割機能_精神 (RE)	1580	49.40	7.08	50.62	0.000
心の健康 (MH)	1580	48.00	7.34	50.6	0.000
身体的サマリースコア (PCS)	1580	48.71	7.32	49.72	0.000
精神的サマリースコア (MCH)	1580	47.84	7.33	49.78	0.000



(表-6) 全体

全 体	有効回答数	平均値	標準偏差	国民平均 (検定値)	有意確率
身体機能 (PF)	2794	49.92	6.84	50.85	0.000
日常役割機能_身体 (RP)	2794	50.02	6.84	50.65	0.000
身体の痛み (BP)	2794	50.33	8.65	51.42	0.000
全体的健康感 (GH)	2794	49.34	6.89	50.99	0.000
活力 (VT)	2794	50.59	6.76	51.76	0.000
社会生活機能 (SF)	2794	49.37	8.02	50.09	0.000
日常役割機能_精神 (RE)	2794	49.95	6.68	50.89	0.000
心の健康 (MH)	2794	48.84	7.28	50.96	0.000
身体的サマリースコア (PCS)	2794	49.17	6.99	49.84	0.000
精神的サマリースコア (MCH)	2794	48.53	7.21	50.09	0.000

(表-7) この1ヶ月間の健康状態について

		最高によい	とても良い	良い	あまり良くない	良くない	ぜんぜん良くない	合計
男性	有効回答数	41	232	700	239	45	13	1270
	%	3.2	18.3	55.1	18.8	3.5	1.0	100.0
女性	有効回答数	40	242	896	409	57	27	1671
	%	2.4	14.5	53.6	24.5	3.4	1.6	100.0
総数	有効回答数	81	474	1596	648	102	40	2941
	%	2.8	16.1	54.3	22.0	3.5	1.4	100.0

(平成17年度生活習慣に関するアンケート調査)